

佐伯市文化財調査報告書

明石家  
寄贈

明石秋室關係資料目錄



佐伯市教育委員会

## 序

この度、明石家第九代明石堅吉氏より、佐伯藩を代表する碩学・明石秋室の自筆本をはじめ、関連資料を一括して佐伯市教育委員会へ寄贈して頂きました。氏のご好意に対し、ここに深甚なる謝意を表する次第であります。本目録は、ご寄贈頂いた資料全体の構成と概要を把握するため、緊急調査をして作製いたしました。幸いにも、国文学研究資料館のご協力により、井上敏幸先生、ロバート・キャンベル先生、高橋昌彦先生をお迎えすることができ、それぞれの専門分野から書籍、文書類及び印記について精力的に調査を進めて頂きました。厚くお礼申し上げます。なお、編集にあたりまして、秋室の学術形成と書体の変遷の一端を示すため、成立時の確定した資料の図版を年代順に掲げております。

明石秋室は名を肅、字を雨若といい、通称は仙治また遷次郎、後に大助と改めました。秋室は号で、他にも桂山山樵、上甫、青大などの号があります。秋室は杵築藩士豊田八蔵の二男で、寛政五年（一七九三）に生まれました。少年期は書を三浦黄鶴、画を谷文晁の門人・錦木雲潭に学び、そして詩は矢野毅卿から強い影響を受けたようで、「杵築矢野先生詩録」（秋室写本）にも毅卿との深い師弟愛がうかがえます。

文化十二年（一八一五）、秋室二十三才のとき、遠威の間柄である明石家に入贅しましたが、その時の条件であった佐伯文庫監督の任に当たりたいという本人の希望は、文化十三年十二月九日付で書物奉行に披露されて実現しました。以来、天下に名だたる同文庫の膨大な蔵書を閲読することにより漢籍の素養深く、中国の詩文、取分け中唐末の詩人・李賀の作品に強い関心を寄せていたことが、本資料中一出版を志して編集した「昌谷詩集」、「王季重李賀詩解序」、或は李賀の詩風を伝える歴代諸家の詩選「錦囊遺彩」、「韓孟柳詩」、「孟東野詩」、「徐文長詩集」、「睡髮集鈔」、「茅亭漫錄」、その他一連の詩文抜書に如実が示されています。そして、「鄙稿」と「玉樓鬼訂」は、秋室自作の詩文を収めた作品集の草稿でありますが、このうち「秋郊鬼風謡」、「狐嫁詞」などは、秋室の代表作とされるもので、その凛として怪奇に満ちた作風は李賀の詩境に通じるところであります。その他、「検見筋記」は、秋室が書物奉行から転出して郡代町奉行の職にあつたとき、占市村・上野村の稲毛検分現地調査をした公務日誌であり、また、後半に収録した文書類は、いずれも明石家の動向を系統的に確認できる貴重な原資料であります。総じて、限られた内容でしか紹介できませんが、この目録が明石秋室先生の顕彰と広く郷土史研究に活用されることを期待しております。

一九九三年三月

佐伯市教育委員会

目次

書籍の部	1
文書の部	6
図版	9
印記	23

凡例

- 一、本目録は、佐伯市在住の明石堅吉氏より平成三年十一月二十二日に御寄贈頂いた明石秋室関連資料の簡略目録である。
- 一、書籍と文書の二部に大別したが、資料番号は通し番号 1 からとした。
- 一、書型は、大本・半紙本・小本・横本を各々、大・半・小・横で、また刊本・写本の別を、刊・写で示した。
- 一、書名あるいは文書名は、原本通りを原則としたが、便覧上目録作製者で名付けたものも多い。
- 一、本目録の作製者は、井上敏幸 高橋昌彦  
ロバート・キャンベルである。

明石家  
寄贈

# 明石秋室關係資料目錄

佐伯市教育委員△云所藏

## 【書籍】

- |   |          |     |          |                     |                    |   |
|---|----------|-----|----------|---------------------|--------------------|---|
| 1 | 玉樓鬼訂     | 半一冊 | 秋室撰      | 秋室詩四十四首             | 天保六年秋室自筆<br>紙捻綴十一丁 | 写 |
| 2 | 鄙稿       | 大一冊 | 同        | 秋室詩二十九首<br>帆足万里批点   | 秋室自筆<br>紙捻綴九丁      | 写 |
| 3 | 矢野蕉園詩文稿  | 半一冊 | 矢野弘(蕉園)撰 |                     | 蕉園自筆<br>紙捻綴三丁      | 写 |
| 4 | 杵築矢野先生詩錄 | 大一冊 | 同        | 蕉園詩三十余首<br>万里・山陽批点  | 天保二年秋室識語<br>紙捻綴十三丁 | 写 |
| 5 | 柿園詩稿     | 一葉  | 柿園撰      | 七言古一篇               | 天保元年自筆             | 写 |
| 6 | 菜譜拔書     | 大一冊 | 貝原益軒撰    |                     | 秋室自筆<br>紙捻綴十七丁     | 写 |
| 7 | 王季重李賀詩解序 | 半一冊 |          | 「少年寒」他              | 秋室自筆<br>紙捻綴七丁      | 写 |
| 8 | 山静画論抄    | 半一冊 |          | 山静居画論・筆法<br>記・王維山水論 | 紙捻綴二十四丁半           | 写 |

- |    |        |     |                   |           |          |   |
|----|--------|-----|-------------------|-----------|----------|---|
| 9  | 詩文拔書   | 大一冊 | 唐盧仝「將帰山」          | 秋室自筆丁     | 紙捻綴七筆    | 写 |
| 10 | 詩文拔書   | 大一冊 | 唐元稹「夜雨」他・白樂天「夢仙」他 | 秋室自筆丁     | 紙捻綴三筆    | 写 |
| 11 | 詩文拔書   | 大一冊 | 「郡齋雨中與諸文士燕集」他     | 秋室自筆丁     | 紙捻綴十八丁   | 写 |
| 12 | 詩文拔書   | 大一冊 | 清魏水叔「答南豐李作謀書」他    | 秋室自筆丁     | 紙捻綴九筆    | 写 |
| 13 | 青軒漫錄   | 大一冊 |                   | 文政十一年秋室自筆 | 紙捻綴十六丁   | 写 |
| 14 | 昌谷詩集   | 大一冊 |                   | 文化十三年秋室丁筆 | 紙捻綴百四十三丁 | 写 |
| 15 | 詩文拔書   | 半一冊 | 元・明詩              | 秋室自筆      | 紙捻綴二十五丁  | 写 |
| 16 | 桃花影    | 半一冊 | 煙水散人編             | 秋室自筆      | 百二十一丁    | 写 |
| 17 | 左伝杜解補正 | 大一冊 | 清顧炎武撰             | 秋室自筆      | 五十丁      | 写 |
| 18 | 漢文拔書   | 大一冊 | 清黄宗義・魏禧等          | 秋室自筆      | 四十二丁     | 写 |
| 19 | 虞初新志   | 半一冊 | 魏禧「大鉄椎伝」          | 秋室自筆      | 十三丁      | 写 |

30	詩文拔書	大一冊	外題「丙午漫抄」 唐張旭、王昌齡	弘化三年秋室自筆 紙捻綴十丁	写
29	詩文拔書	大三冊	徐文長詩集 秋室批語圈点	秋室自筆 紙捻綴七・四・九丁	写
28	詩文拔書	半一冊	外題「茅亭漫錄・昌谷集 附録」	秋室自筆 紙捻綴二十四丁	写
27	詩文拔書	大一冊	外題「啼髮集鈔」	秋室自筆 紙捻綴三十五丁	写
26	詩文拔書	大一冊	清黄宗義、周棟園、 陸次雲	秋室自筆 紙捻綴十三丁	写
25	詩文拔書	大一冊	□簡齋文抄	秋室自筆 紙捻綴五十五丁	写
24	詩文拔書	大一冊	韓孟柳詩、批語圈点	天保十三年秋室自筆 紙捻綴七十八丁	写
23	詩文拔書	大一冊	唐宋文婦、張明弼、 明黄汝亨	秋室自筆 紙捻綴十丁	写
22	詩文拔書	大一冊	空香中人漫抄上・下考証 隨筆	秋室自筆 紙捻綴十七丁	写
21	新刻火珠林	半一冊	外題「濃翠堂易書七種之 一」明胡文煥校	紙捻綴七紙	写
20	蘇詩鈔	大一冊		紙捻綴六十三丁	写

31 詩文拔書

大一冊

外題批「孟東野詩」  
秋室批「語圈点」

嘉永二年秋室自筆  
紙捻綴二十四丁

写

32 詩文拔書

大一冊

外題文「癸丑漫抄」  
拙堂文「語抄録」

嘉永六年秋室自筆  
紙捻綴六丁

写

33 詩文拔書

大一冊

外題「湘中草抄」

天保六年秋室自筆  
紙捻綴十八丁

写

34 詩文拔書

大一冊

外題「湘中草抄」

秋室自筆  
紙捻綴二十一丁

写

35 詩文拔書

大一冊

外題「錦囊遺彩」何景明他詞曲  
明汪巽元

文政八年秋室自筆  
紙捻綴二十五丁

写

36 詩文拔書

大一冊

外題「錦囊遺彩」林敏他詞曲  
明徐賁

秋室自筆  
紙捻綴十五丁

写

37 詩文拔書

大一冊

外題「錦囊遺彩」補  
元楊維禎詞曲

秋室自筆  
紙捻綴十七丁

写

38 詩文拔書

半一冊

外題「遺彩剩宏道」他詞曲  
宋范浚

秋室自筆  
紙捻綴十八丁

写

39 詩文拔書

半一冊

外題「錦囊遺彩」統録  
明趙迪「王家春」他詩録

秋室自筆  
紙捻綴二十丁

写

40 詩文拔書

大一冊

外題「錦囊遺彩」明徐繩他  
外題「玉山房備忘録」(文政十年)

秋室自筆  
紙捻綴十八丁

写

41 詩文拔書

大一冊

外題「近文抄之二」宋金華他  
外題「布政使李公墓志銘」

秋室自筆  
紙捻綴三十七丁

写

2	備 亡心 録	横一冊	表紙「文久二年 四月備忘録」 翠年	明治三十一・十八年	写
51	備 亡心	小一冊 竹叟	明治四年正月より 十月まで	明治四年 二十五年丁	写
5	近古史譚	半一冊 大槻清崇撰	下卷	安政三年木村 紙捻綴三十二丁 鞍殿	写
4	新封建論	大一冊 静妙子撰		明治三年長三 紙捻綴十八丁 洲	写
4	祖先年忌操出帳	半一冊 明石氏撰	享保二十年より昭和十七年 まで 付大助・琢磨略歴	紙捻綴十四丁	写
4	在京日記	大一冊	明治元年十月より 二年三月まで	紙捻綴十九丁	写
3	政 体	大一冊 太政官	慶應四年 戊辰閏四月 太政官序	慶應四年木活字 紙捻綴十五丁	刊
3	檢見日記草稿	三葉		秋室自筆	写
4	檢見筭記	大一冊	古市邨上野村檢見日記	天保十一年秋室自筆 紙捻綴十六丁	写
4	刀劍秘伝集	半一冊	内題「秘伝集」	文久元年秋室自筆 四十五丁	写
2	弓道伝書	大一冊	天明八年奥「弓矢文 字集」 「弓矢詞選」	三十三丁	写



55 公私録

横一册

文久元年より明治三年まで  
雑録、佐伯藩略誌、詩拔書

明治三年  
薄葉八十九丁

写

54 御誓文御宸翰写

大一册

慶應四年三月  
紙捻綴四丁

写

56 西郷吉之助建白

大一册

西郷吉之助撰

紙捻綴九丁

写

58 斥候

半一册

斥候上・下、私用集古註宮  
法四

紙捻綴六十三丁

写

57 都仁士心喜

横一册

慶應四年京都蘭教館  
薄様百三十一丁

刊

58 武者分

半一册

此一册三卷有之此卷二ハ諾  
役義ヲ微細ニ書ス

紙捻綴三十五丁

写

59 五十騎一備相懸戦法図解

横一册 山脇正準撰

紙捻綴薄葉三十一丁

写

【文書】

60 享保四亥十一月二十五日

周防(毛利高慶)、明石権太夫(初代)宛。扶持役料一件。

一通

61 享保六丑十一月三日

周防、明石伝藏(二代)宛。養父権太夫隠居及家督相統一件。

一通

62 起請文前書之事

享保十一丙午年十一月 梶西金左衛門典義、明石伝藏宛。

一通

- 53 御書付 十月十五日  
 益田金兵衛、小林九左衛門、戸倉六郎兵衛、明石伝藏宛。冊一件。一通
- 64 覺 卯（宝曆九年）十一月六日  
 明石伝藏宛。冊參（十人扶持）一件。一通
- 65 覺 辰（安永元年）七月十八日  
 明石辰之助（四代初名）宛。明石寿平名跡一件。一通
- 66 覺 戌（享和二年）正月五日  
 明石藤左衛門（四代改名）宛。寺社宗門奉行兼帶申付一件。一通
- 67 覺 亥（享和三年）八月二十一日  
 明石条左衛門（四代後名）宛。悻貞治給人見習呼出一件。一通
- 68 覺 子（文化元年）五月二十五日  
 明石条左衛門宛。榮之助小納戸膳番寺社宗門奉行申付一件。一通
- 69 覺 子（文化元年）十月十二日  
 明石条左衛門宛。知行（五十石三人扶持）一件。一通
- 70 文化元年十月十二日  
 美濃（毛利高誠）、明石条左衛門宛。五十石下給一件。一通
- 71 覺 子（文化元年）十月晦日  
 明石条左衛門宛。居所儉約吟味役兼帶申付一件。一通
- 72 覺 卯（文化四年）十月二十九日  
 明石登宛。給米二十五俵三人扶持下給一件。一通
- 73 覺 午（文化七年）十一月十一日  
 明石条左衛門宛。目付役武具奉行兼帶申付一件。一通
- 74 覺 未（文化八年）正月五日  
 明石条左衛門宛。悻伝藏給人見習呼出一件。一通
- 75 覺 申（文化九年）十一月朔日  
 明石条左衛門宛。取次格申付一件。一通
- 76 覺 亥（文化十二年）六月三日  
 明石条左衛門宛。銀奉行浦奉行申付一件。一通
- 77 覺 子（文化十三年）五月十一日  
 明石条左衛門宛。悻仙治給人見習呼出一件。一通

- 76 覺 午（文政五年）十月五日 明石大助（五代）宛。岩之助附申付勤勉獎勵一件。一通
- 79 覺 戌（文政九年）四月十三日 明石大助宛。給米二十五俵三人扶持下給一件。一通
- 80 天保二年三月七日 出雲（毛利高翰）、明石大助宛。養父糸左衛門隱居並家督相統（五十石）一件。一通
- 81 覺 戌（天保九年）七月二日 明石大助宛。郡代町奉行見習申付一件。一通
- 82 覺 丑（天保十二年）正月五日 明石大助宛。郡代本役町奉行兼帶申付足高二十石下給一件。一通
- 83 覺 子（嘉永五年）正月五日 明石大助宛。忤熊五郎給人見習呼出一件。一通
- 84 嘉永五年四月十二日 安房（毛利高泰）、明石大助宛。十石加增一件。一通
- 85 覺 子（嘉永五年）四月十二日 明石大助宛。十石加增一件。一通
- 86 文久二年八月晦日 安房、明石琢磨（六代）宛。家督相統（知行六十石）一件。一通
- 87 覺 巳（明治二年）十一月十三日 明石琢磨宛。取次格申付一件。一通
- 88 明治五年壬申三月 大分県 明石琢磨宛。免職一件。一通
- 89 古高島流加納打方伝授目録 阿南宗兵衛、明石琢磨宛。一通

而此竹間派當在...

家惟子季昌谷詩解序  
六經子史詩賦駢類千古文人之所爲作也  
增心不聽作者之音讀者之情欣然來會斯爲上已若  
讀者又復一人拊拊與語一抵遂隔萬重有誰者  
學之不備作爲註釋目演其義達其旨而箋疏訓詁之  
學興於是郭氏之詩之義禮孔子國之尚書何晏之  
論語王弼之易郭璞之爾雅杜預之春秋其始猶不離  
乎經也後之學者蓋揚其波而疏其流凡登劉氏之器  
而考藝文之編者無不註矣其號稱最能者則有郭象  
之莊王逸之騷范望之大玄鄭道元之水經葉松之  
三國書劉孝標之世說新語其間標新領異有餘季又

14 昌谷詩集 文化13年(明石秋室24歲)

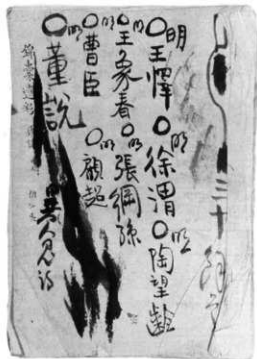


煙雨樓

昌谷詩集

卷一 摘句 老眼虫 殘月

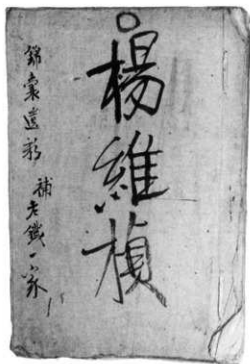
昌谷詩集



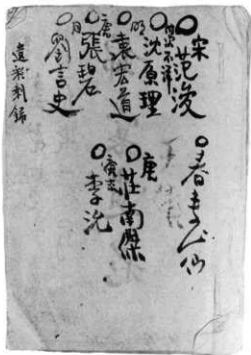
39錦囊遺彩統錄 (文政8年同33歲頃 ㊦)



40錦囊遺彩稿 (文政8年同33歲頃 ㊦)  
 (附録玉山房備忘録 文政10年 同35歲)

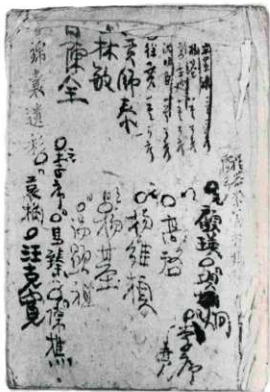


37錦囊遺彩補 (文政8年同33歲頃 ㊦)



38遺彩剩録 (文政8年同33歲頃 ㊦)

36 錦囊遺彩 (文政8年同33歳頃 ㊦)



35 錦囊遺彩 文政8年 (同33歳)





4 杵築矢野先生詩錄 天保2年(同39歲)





湘中草抄

湯傳楹御謀

泰山吟

○○古制似高。信陽大冢。百神所都。以錫純。命。無窮之  
 大。帝。不。測。之。野。翫。白。雲。之。人。之。馬。和。龍。翠。觀。如。人。如  
 廣。遠。洲。雲。花。日。月。漂。灑。白。雲。新。出。從。其。下。補。房。何。如  
 望。窮。龍。雞。馬。土。松。太。夫。蒼。麟。為。瓦。秦。皇。漢。武。拜。獻。玉。策  
 探。笑。而。折。壽。命。莫。從。此。天。孫。誰。長。年。者。地。絕。意。千  
 聚。如。而。費。靈。木。觀。皇。師。此。松。樹。魁。觀。一。次。萬。象。蒼。煙  
 忙。物。平。報。光。出。若。柳。太。室。芝。回。拱。嶺。東。夏。是。若。若。家  
 帝。吏。音。不。知。百。未。登。此。而。劫。禱。者。七。十。有。二。至。今。無

33 湘中草抄 天保6年(同43歲)



天保六年卅廿景  
 玉樓鬼訂

1 玉樓鬼訂 天保6年(同43歲)

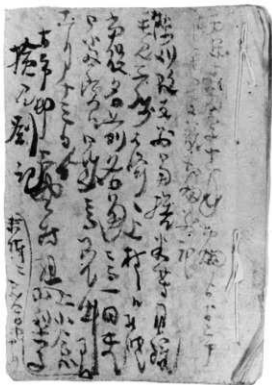
玉樓鬼訂前  
 卷毛飛入空器玉容全顏光輝化地靈政劉魏入  
 注南天盤  
 蠅母俗徐記至  
 自從宅衙面夏采張惴旭危日魚靈若危程曉在交  
 半空落來太亮一響不絕刺收極存坐全半院院  
 記得山中光常說大死所院院深陰院院外日區  
 院忽不堪燒蒸鷄齋起起弄他鱗下集一時靈靈死  
 院心有如此院平巧直人安萬靈院母一、附院鱗  
 老仙謠 寶壽三三品而然  
 李成用前休

此書乃... 卷之三... 天保六年... 玉樓鬼訂... 此書乃... 卷之三... 天保六年... 玉樓鬼訂... 此書乃... 卷之三... 天保六年... 玉樓鬼訂...

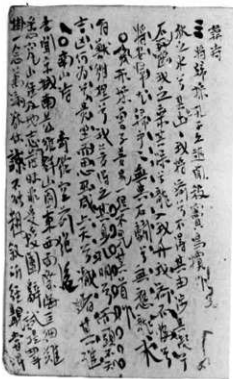
1 玉樓鬼訂 天保6年(同43歲)

此書乃... 卷之三... 天保六年... 玉樓鬼訂... 此書乃... 卷之三... 天保六年... 玉樓鬼訂... 此書乃... 卷之三... 天保六年... 玉樓鬼訂...

44 檢見簡記 天保11年(同48歲)



24 韓孟柳詩 天保13年(同50歲)









及至國... 嘉永六年... 癸丑漫抄... 嘉永六年(同61歲)

中井慶新... 傳... 復... 丁... 戊... 不... 生... 一... 解... 羊... 我... 與... 處...

32 癸丑漫抄 嘉永6年(同61歲)

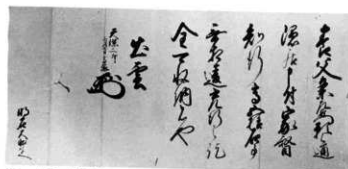




60 周防（毛利高慶）、明石権太夫宛。扶持役料一件。



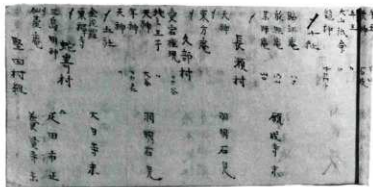
70 美濃（毛利高誠）、明石左衛門宛。五十石下給一件。



80 出雲（毛利高翰）、明石大助宛。兼父系左衛門隠居並家督相統（五十石）一件。



84 安房（毛利高泰）、明石大助宛。十石加増一件。



53 公 私 錄

印 記 (原寸大)



竹深處



竹雨房

西 街



藤 紫



秦氏淳印



明石



不正



不正



汲古

【付記】

- 一 「<sup>2</sup> 郵稿」所収の作品は、「<sup>1</sup> 玉楼鬼訂」に載録されていること。
- 二 「<sup>7</sup> 左伝杜解補正」は青年時、「<sup>6</sup> 菜譜拔書」「<sup>8</sup> 蘇詩鈔」は壮年時の作品とされること。

寄明石  
明石

明石秋室関係資料目録

平成五年二月二十一日

編 集 佐伯市教育委員会  
行 行 佐伯市中村町一帯二号

印 刷 佐伯印刷株式会社  
〒876 佐伯市高島九三三